

5. 健康維持増進住宅研究委員会 普及促進委員会の活動計画

普及促進委員会 委員長 坊垣 和明(建築研究所 首席研究員)

1. 普及促進委員会の目的と活動方針

1.1 普及促進委員会の目的

普及促進委員会は、各部会での調査研究活動の支援および成果の広報等を集約し効率的に実施することを目的として設置された。

1.2 活動内容と方法

(1)成果の普及・広報

各部会における成果を普及促進するためのシンポジウムや講演会の開催、メディアへの広報ならびにその支援を行う。

(2)調査・研究活動の支援

例えば、複数の部会にまたがる調査・研究活動を統括する、あるいは民間等を含む複数の機関による共同研究の支援を行う、等の活動が考えられる。

(3)調査や研究および成果の普及のための組織の設立・運営

産学官の連携による共同研究等の効果的な推進のための組織として、コンソーシアムを設立し、その運営を行う。また、有用な技術を発掘し普及するための技術認定制度のような仕組みの確立が検討されているが、将来的（研究期間終了後）にはコンソーシアムがこれらの運営を担うことになると考えられる。

2. 活動の概要

2.1 シンポジウムの開催

活動の中間報告を中心とするシンポジウムを開催した。

健康維持増進住宅シンポジウム 2007年12月17日（月） すまい・るホール

内容：基調講演（村上委員長）、特別講演（坂部委員）、各部会活動状況報告（4部会主査）。

250名以上が参加。

2.2 コンソーシアムの設立準備

健康維持増進住宅コンソーシアム（仮称）の設立準備を進め、民間企業の参加を募集中。

3. 今後の活動

3.1 シンポジウムの開催

年度中間の時期に建築と健康に関する講演と一部の成果報告を行うシンポジウム（第2回）年度末頃に活動状況報告のためのシンポジウム（第3回）を開催する（予定）。

第2回シンポジウム 2008年9月頃

第3回シンポジウム 2009年1月頃

2009年度も同様の開催を企画する予定。

3.2 部会活動の支援

海外先進事例調査等、各部会の活動を支援する業務の企画、実施を検討する。

3.2 コンソーシアムの設立・運営

新年度早々の設立を目指して準備を進め、早い時期に運営を軌道に乗せる。

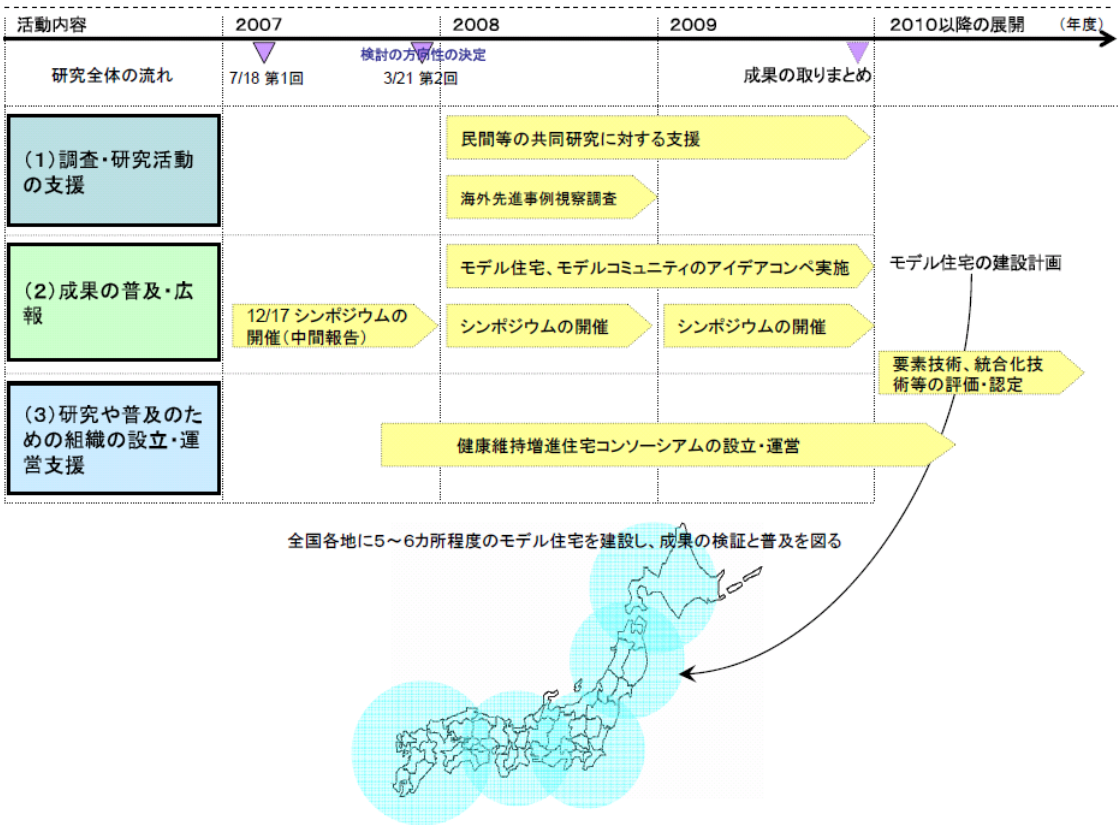


図1 普及促進委員会の活動計画(案)